

環境報告書 51期

Environment Report



目次

ごあいさつ	3
企業理念／会社概要	4
事業概要	5
環境方針	6
環境管理体制	7
(1) 環境保全推進組織	
(2) 工場、オフィスの環境保全活動	
51 期環境保全活動の実績	8
(1) 活動経過報告	
(2) 主な活動の実績	
(3) 社会とのかかわり	
今後の活動について	11



編集方針

株式会社カナエの 51 期環境報告書は、より多くの方々に弊社の環境保全活動の実態をご理解いただきたいという目的で作成いたしました。

報告書の対象となる事業所は、本社、東京支店、名古屋営業所、富山営業所の 4 事業所と大宮、高倉、高殿、栃木、愛媛工場の 5 工場です。

報告書作成に当りましては環境省発行の「環境報告書ガイドライン（平成 15 年度版）」を参考にしましたが、まだまだ全ての項目を記載することはできておりません。

今後、さらに充実した報告書の発行を目指してゆく所存であります。

ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



対象期間

2005 年 10 月 21 日～2006 年 10 月 20 日



【報告書に関するお問合せ先】

株式会社カナエ 経営企画部

Tel.06-6954-7151 Fax.06-6954-7196



ごあいさつ

21 世紀は環境の時代といわれていますが、21 世紀に入っても地球環境がよくなりつつあるという実感はほとんどないというのが正直なところではないかと思えます。

地球温暖化をみてみましても京都議定書が 1997 年に議決、2005 年に発効という経過をたどり、批准各国は削減に向けた努力を現在行っていますが、その成果がほとんど出していないというのが実感ではないかと思えます。

日本も 1990 年を基準年として 2008 年～ 2012 年の 5 年間に温暖化効果ガス 6 %削減の義務を負っています。

しかし、現状は削減どころか 2004 年時点で 8 %の増加ということになっています。その結果、2005 年～ 2012 年の 8 年間で 1990 年に比べ、14%の削減をしなければならぬという状況になっています。

地球温暖化ガス削減が効果を上げていないためか、異常気象が世界各国で生じています。日本の今年の異常な暖冬もその一つの現象ではないでしょうか。

世界各国が真剣に地球温暖化に取り組まないとほんとに地球は人間の住めない星になってしまうのではないのでしょうか。

このような状況を見るに付け、弊社も日本の一企業として地球環境保全に努力してゆく必要性を痛感しています。

49 期の環境報告書以来述べておりますとおり、包装を生業とする弊社は包装廃棄物を削減するための提案を世の中に向けて発信することが地球環境保全に貢献するための最大の方策と考えています。

今後ともこの方策の推進に邁進して参りたいと考えております。

なお、本環境報告書を通しまして社内外の方々に弊社の環境保全活動の現状と今後の取り組みの姿勢をご理解いただければ幸いと存じます。



代表取締役社長
岡本 邦昭

企業理念／会社概要

■企業理念

企業としてのあり方を示す統一理念として「スローガン」、「企業理念」を制定しています。

スローガン

お客様に喜びと感動を感じていただける会社になる

企業理念

顧客第一主義に徹する。

健康と豊かな生活を創造し、社会に貢献する。

情報と知恵を活かし、顧客満足を創造する。

社員の人生の充実を重んじ、希望と誇りと働き甲斐のある企業を目指す。

地球環境保全をベースとした企業活動を行う。

■会社概要

商号	株式会社 カナエ
設立	昭和31年3月29日
資本金	3億5,381万4,600円
代表取締役社長	岡本 邦昭
従業員数	326名(平成18年10月現在)
売上高	215億円(平成18年10月)
営業品目	包装資材・包装機械の開発販売、包装受託加工、受託製造

本社、支店、営業所、工場所在地

本社	大阪市旭区高殿4丁目16番11号	TEL 06 (6954) 7151
東京支店	東京都中央区八丁堀4丁目11番5号	TEL 03 (5566) 4811
名古屋営業所	名古屋市北区田幡2丁目5-12	TEL 052 (915) 3371
富山営業所	富山市布瀬町南2丁目10番14	TEL 076 (492) 8707
流通センター	大阪市城東区今福西6丁目9番27号	TEL 06 (6932) 6231
大宮工場	大阪市旭区高殿4丁目15番12号	TEL 06 (6954) 7160
高殿工場	大阪市旭区高殿4丁目8番22号	TEL 06 (6954) 7160
高倉工場	大阪市都島区高倉町3丁目14番13号	TEL 06 (6928) 3171
栃木工場	栃木県真岡市寺内599-4	TEL 0285 (80) 1881
愛媛工場	愛媛県四国中央市川滝町下山2326番地の5	TEL 0896 (59) 4326



事業概要

(1) 包装材料販売

トータルな視点が生む独自のパッケージング対応

医薬品をはじめ、カナエの多様な事業分野におけるお客様のニーズは多岐にわたります。

カナエはそのさまざまなニーズに対し、包装内容物に最適な包装材料の設計から、機能形態、衛生安全性、さらには生産システム適性までの包装の全プロセスをトータルな視点でとらえ、ユーザーの意向を確実に解決する確かなパッケージング対応を行っています。

国内約 500 社の各種メーカー、コンバーターとのネットワークにより、ラミネートフィルムや PTP（プレスルーパッケージ）用各種シート、アルミ箔、化成品など、多彩な包装材料を安定供給。また開発部門を有し、国内外の最新情報と長年培った技術・ノウハウを駆使した新規包装材料・形態の企画提案でカナエ独自の付加価値を生み出しています。

さらに包装における機能や経時変化などの品質評価に関する各種データの収集・分析・評価のための専任スタッフと設備を整えると同時に、各素材メーカーとの連携による技術開発を推進し、開発・提案型企業としてのさらなる充実を追究。

人にやさしい包装材料及び形態の開発にも力を注いでいます。



(2) 包装加工

独自のノウハウを生かしたコントラクト業務

お客様から委託を受け、包装加工を行うコントラクト・パッケージ（受託包装）と、最終商品まで仕上げるコントラクト・マニュファクチャリング（受託製造、OEM）。

これらのコントラクト業務では、カナエの各種業態許可を得た技術力、品質管理力、生産能力が最大限に活用されています。

分野ごとに独立した包装加工工場を保有し、最新の設備と厳しい品質管理のもと、PTP 包装、ストリップ包装、三方・四方シール包装、スティック包装、特殊包装など多種多様な形態の包装加工に対応。

アウトソーシングが進む医薬品業界のニーズにいち早く応えて、2000 年には医薬品包装加工受託専門である栃木工場を新たに設け、さらに製剤からの一貫製造の受託にむけて、その環境整備と設備の充実にも取り組んでいます。

コントラクト・マニュファクチュアリング(受託製造)では主に坐剤やウェット・ティッシュ製品、ゲルシート製品などの製造を行っています。



(3) 包装機械販売

包装機械・システム構築からのアプローチ

各種包装材料の企画と販売、コントラクト業務による技術と経験を活かして、メーカーの枠にとらわれることのない「使用する立場、視点」からの提案をおこなえるのがカナエの包装機械事業の大きな特長です。

まず、技術開発部において、フィルム特性資料、使用包装材料との適性、内容物の特性そしてコントラクト事業での経験・ノウハウを十分に検討、機械と包装材料に関する専門スタッフが参加して、システムの企画と設計をおこないます。

こうして医薬品分野をはじめ、さまざまな産業分野で、加工・包装工程を主体とした製造工程に最適なシステムを提案。

有力包装メーカーの包装機械の販売とともに、独自に企画・設計した包装機の製作にも取り組み、システム・エンジニアリングにおけるトータルサポートを実現しています。

多品種少量生産に対応したフレキシブルな全自動ブリスター包装機 MW シリーズ、成形から充填、シール、打抜きまで自動でできるインライン生産システム両面アルミ成形機 DFS-280 AL、医薬品包装に最適で、さまざまなラインに対応可能な次世代デジタル印刷機 CSAT など、機械専門メーカーとは一線を画した独創的な包装システムは、総合包装企業カナエならではの強みです。





環境方針

2005年11月に見直した「環境方針」を51期は継承しました。

<環境理念>

当社は、<豊かな自然に恵まれた地球>、その環境を永遠に保っていくことが我々人類の果たすべき使命であると自覚し、環境に配慮した製品造りを行い、良き社会の一員として地球環境の保全に努めます。

<行動指針>

1) 総合包装企業として包装資材、包装機械の開発販売並びに受託包装加工を事業としている当社は、地球の温暖化、廃棄物による地球の荒廃等の地球環境をとりまく諸問題を真摯に受け止め、当社の企業活動から生じるこうした環境汚染の発生を予防し、環境への影響を可能な限り減少させるための改善に努力します。

- ①省エネルギーの推進
- ②環境配慮製品の情報提供と開発
- ③廃棄物の削減とリサイクル化の推進
- ④業務効率化等プラス側面への取組み
- ⑤グリーン購買、調達の推進

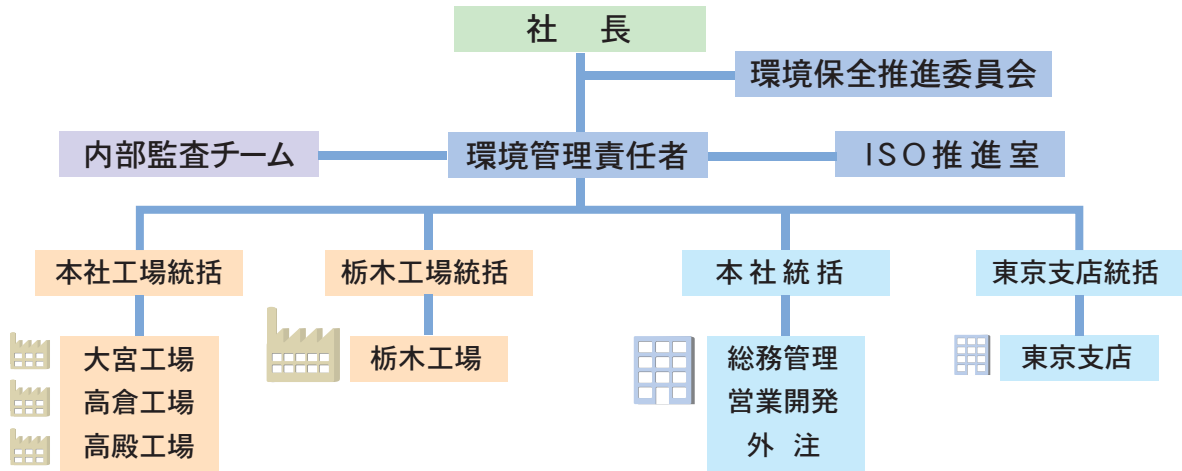
上記事項の改善のため環境目的及び目標を設定し、その実現に向けた改善プログラムを策定、実施します。そして定期的にその達成度を確認し、その見直しを図り、これにより環境保全のため継続的改善に努めます。

- 2) 当社は、事業活動に伴い適用されるあらゆる環境関連の法規制及び当社の同意した環境上のその他の要求事項を遵守します。
- 3) 当社は、この環境方針を全従業員又は当社のために働く全ての人に周知徹底させるために教育啓発活動を実施します。
- 4) 当社は、一般の人からの要求に応じこの環境方針を提供します。

環境管理体制

(1) 環境保全推進組織

株式会社カナエは環境保全推進活動を実施するうえでその推進母体となる「環境保全推進組織」を構築しています。



(2) 工場、オフィスの環境保全活動

株式会社カナエの工場、オフィスは51期において次のような環境保全活動を実施しました。

工場

- 省エネの推進
 1. 使用電力の削減
 2. 水使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減とリサイクル
 1. 工場排出廃棄物の削減
- 業務効率化等プラス側面への取り組み
 1. 作業合理化の推進
 2. 校正計画に基づく包装機、計測メーター等の管理
- 法規制及びその他の環境上の要求事項の順守
 1. 騒音規制の順守
 2. 工場排水の水質規制の順守
 3. 浄化槽の適正管理
 4. 産業廃棄物の適正管理と適正処理
 5. 有害・危険物の適正廃棄
 6. 特定廃棄家電の適正廃棄
 7. 特定廃棄フロン含有製品の適正廃棄
 8. 廃棄建設資材の有効利用

オフィス

- 省エネの推進
 1. 使用電力の削減
- 環境配慮製品の情報提供、開発
 1. 環境負荷低減情報の収集
 2. 環境負荷低減情報の提供
 3. 環境負荷低減商品の開発
- 廃棄物排出量の削減とリサイクル
 1. コピー用紙使用量の削減
 2. 不良在庫の削減
 3. コンピューター用紙使用量の削減
 4. 産業廃棄物の適正管理と適正処理
 5. 正確、迅速な在庫報告の実施
- 業務効率化等プラス側面への取り組み
 1. 社内報への啓蒙記事掲載
 2. 社内情報誌への環境関連記事掲載
 3. 運送車へのアイドリングストップ要請
 4. 業務委託先への環境負荷低減活動の啓蒙、支援
 5. 仕入先、業務委託先の品質保証体制向上のための啓蒙
- グリーン購買、調達への推進
 1. 事務用品等のグリーン調達の推進
 2. 仕入商品の安全性データの整備
- 法規制及びその他の環境上の要求事項の順守
 1. PCBの適正管理
 2. 廃棄物の適正管理と適正処理
 3. 防災管理
 4. アイドリングストップの推進
 5. 有害・危険物の適正廃棄
 6. 特定廃棄家電の適正廃棄
 7. 特定廃棄フロン含有製品の適正廃棄
 8. 廃棄建設資材の有効利用

51期環境保全活動の実績

(1) 活動経過報告

◆更新・移行審査

51期は弊社として初めての更新審査及びISO14001規格改訂に伴う移行審査の2つが同時に実施されました。

その結果、カテゴリ B に相当する不適合を2点指摘されましたが、弊社のEMSが継続的に改善されおり、さらに2000年改訂のISO14001規格にも適合していることが認められ、認証の更新が決定しました。



◆環境保全推進委員会の開催

推進委員会の構成メンバーは環境管理責任者、統括責任者(4名)、ISO推進室室長、ISO推進室事務局の計7名です。

51期は1、4、7、9月に計4回開催しました。主な議案は右記のようです。

開催月	主 議 案
1月	・51期の活動方針 ・51期の年間計画 ・51期の全社目標 ・51期の表彰対象活動事項
4月	・更新審査不適合指摘事項、改善の機会に対する改善状況 ・2月までの実績検討
7月	・51期表彰について ・5月までの実績検討 ・51期2回目内部監査結果報告 ・52期に向けての活動予定
9月	・環境方針レビュー ・52期全社の著しい環境側面について ・52期全社の目的・目標設定 ・7月までの実績検討 ・10月の実施事項

◆部門長会議の開催

51期は内部コミュニケーションを充実させるため各部門(本社、本社工場、東京支店、栃木工場)、月1回のペースで開催しました。

統括責任者、部門長とISO推進室のコミュニケーションが多いに改善され、大変、有意義な会議となりました。

◆部門会議の開催

部門長と部員のコミュニケーションを図る場となる部門会議も各部門、月1回のペースで開催しました。部員数の多い部門の開催方法についてはさらに工夫する必要があると感じています。

(2) 主な活動の実績

◆オフィス

①コピー用紙使用量

部門	50期	51期	達成状況	達成成否
本社	619,500	582,500	6%削減	○
製造事務所	133,000	128,500	3%削減	○
流通センター	9,150	8,600	6%削減	○

前期に比べ、実施部門全てで削減となりました。

②環境負荷低減情報提供数

部門	50期	51期	達成状況	達成成否
本社営業	540	2,208	309%増加	○
東京支店	606	1,942	220%増加	○

前期に比べ、大幅増加を達成しました。

③不良在庫金額

部門	達成状況	達成成否
本社営業	23%減少	○
東京支店	96%増加	×

前期に比べ、19%の増加となりました。

④環境負荷低減商品開発数

部門	達成状況	達成成否
技術開発	目標3件に対し3件開発	○

今期は目標達成しました。

⑤グリーン調達品目拡大数

部門	達成状況	達成成否
総務	目標数5品目に対し18品目実施	○

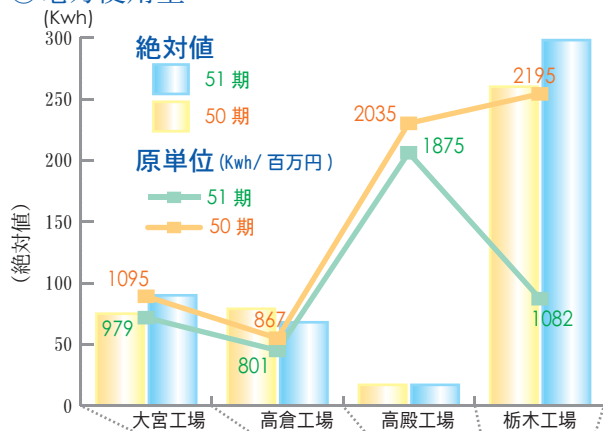
目標値を大幅に上回る実績となりました。

51期環境保全活動の実績

(2) 主な活動の実績

◆工場

①電力使用量

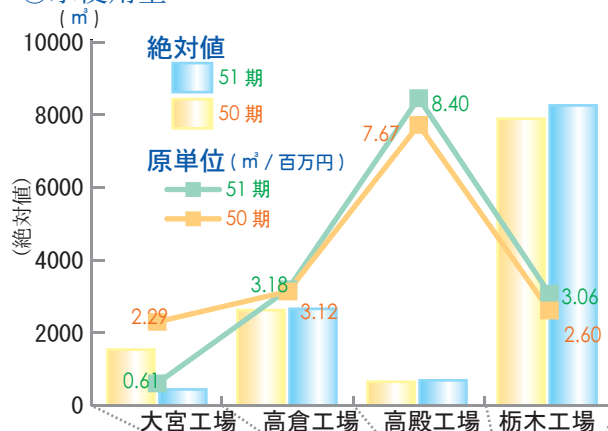


絶対値	20%増加	14%削減	同じ	15%増加
原単位	11%削減	8%削減	8%削減	51%削減

絶対値/前期に比べ 10%増加しました。高倉工場が減少した以外は前期と同等または増加という結果になりました。

原単位/生産額 100 万円当たりの電力使用量は前期と比較して 23%削減しました。各工場とも前期に比べ、削減という結果になりました。

②水使用量

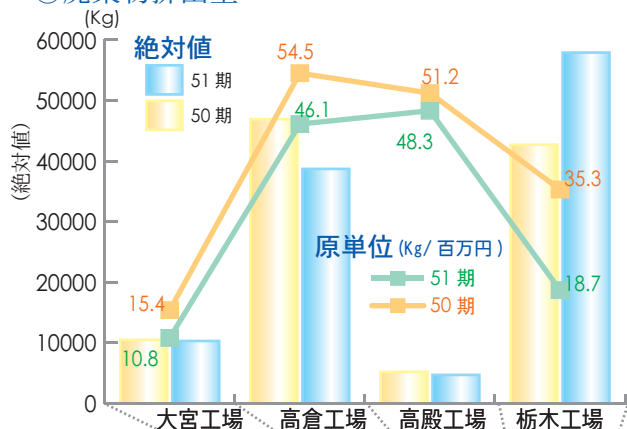


絶対値	71%削減	1%増加	6%増加	5%増加
原単位	73%削減	2%増加	10%増加	18%削減

絶対値/前期に比べ 5%削減しました。大宮工場使用量が大幅に減少したのが減少の要因となっています。

原単位/生産額 100 万円当たりの使用量は前期と比較して 3%削減しました。大宮工場は前期に比べ削減、他の工場は増加という結果となりました。

③廃棄物排出量



絶対値	2%削減	17%削減	10%削減	36%増加
原単位	30%削減	15%削減	6%削減	47%削減

絶対値/前期に比べ 6%増加しました。栃木工場の排出量増加が全体としての増加要因となっています。

原単位/生産額 100 万円当たりの排出量は前期と比較して 21%削減しました。全ての工場で前期と比べ、削減という結果となりました。

④機械稼働率

部門	達成状況	達成成否
大宮工場	A機	目標達成率104% ○
	B機	目標達成率99% ×
高倉工場	C機	目標達成率107% ○
	D機	目標達成率103% ○
	E機	目標達成率109% ○
高殿工場	F機	目標達成率104% ○
	G機	目標達成率106% ○
栃木工場	H機	目標に対する 生産工数削減率46% ○

対象機 8 機のうち 7 機で目標達成となりました。

⑤資材収率

部門	達成状況	達成成否
大宮工場	A機	目標達成率104% ○
	B機	目標達成率102% ○
	C機	目標達成率107% ○
高倉工場	D機	目標達成率102% ○
	E機	目標達成率98% ×
	F機	目標達成率95% ×
高殿工場	G機	目標達成率106% ○
	H機	目標達成率104% ○
栃木工場	I機	目標達成率99.6% ×
	J機	目標達成率100% ○
	K機	目標達成率100% ○

対象資材 11 品目のうち 8 品目で目標達成となりました。



51期環境保全活動の実績

(3) 社会とのかかわり

株式会社カナエは、環境保全の重要性を利害関係者に知ってもらうための活動を積極的に行っています。

● TOKYO PACK2006 への出展

2006年10月3日から7日まで、東京ビックサイトにて開催されました TOKYO PACK2006 に出展致しました。

環境負荷低減商品を展示し、来場されたお客様に地球環境保全の重要性をPRしました。



● 環境負荷低減情報提供

2004年2月より毎月、環境に関する情報、環境負荷低減商品を冊子（e情報）にまとめ、お得意先に提供しています。

51期は提供件数、目標300件/月に対し月348件/月の実績という良好な結果を得ることができました。

52期も引き続き、環境情報の提供を積極的に行ってゆきたいと考えています。

特に環境に負荷の少ない商品をお得意先に提案することに力を注いでゆく所存です。



● 仕入先、製造委託先への環境保全活動実施の啓蒙

51期は50期に引き続き、仕入先、製造委託先に環境保全活動の重要性の啓蒙を実施しました。

その結果、数社が環境保全活動を開始、又は環境認証取得のための活動を開始しています。

さらに仕入先、製造委託先の製品の品質レベルアップのための啓蒙、教育も品質保証部がメインとなり、51期より実施しています。

● 環境負荷低減商品の開発

総合包装企業である弊社は環境に負荷の少ない商品の開発にも力を入れています。

51期は3点の環境負荷低減商品を開発しました。

52期以降も最重要テーマの1つとして取り組んでゆく所存です。

● 環境教育

包装を主事業とする当社は環境に配慮した包装形態、包装材料等の検討、及び環境配慮商品等の情報収集を目的として「環境包装プロジェクト」を2003年8月に設置し、運営を実施しています。

環境包装プロジェクトでは、環境保全の重要性の認識を目的として年2回、全従業員を対象として「環境包装勉強会」を開催しています。

51期は4月と11月の2回開催し、多数の従業員が参加しました。



今後の活動について

今後の活動は、50期よりの方針を継続して重要事項2項目をメインに活動を行ってゆきたいと考えています。

第一は「法規制の順守」、第二は「業務に密着したプラス側面への取組み」です。

我々企業は今後、さらに積極的な環境保全活動を実施し、健全な地球環境を維持してこの「かけがえのない地球」を子供達に引き継いでゆく責務があります。

そのためにも「地球環境保全をベースとした企業活動を行う」という弊社の企業理念に則り、環境保全活動を実施してゆくことが大切と考えます。

環境マネジメントシステムの継続的改善に向けて、今後とも邁進して参るつもりであります。その活動の成果は今後とも引き続き、環境報告書にて広く、外部に公開させていただきたいと考えています。



Life care & Produce



株式会社

カナエ

本社 〒535-0031 大阪市旭区高殿4丁目16番11号
TEL (06) 6954-7151 (代) FAX (06) 6954-7196
東京支店 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目11番5号 (月星ビル3F)
TEL (03) 5566-4811 (代) FAX (03) 5566-4817
名古屋営業所 〒462-0843 名古屋市北区田幡2丁目5-12 (黒川ターミナルハイツ305)
TEL (052) 915-3371 (代) FAX (052) 915-3373
富山営業所 〒939-8208 富山市布瀬町南2丁目10番地14 (ウイズ光陽1-A)
TEL (076) 492-8708 (代) FAX (076) 493-0405

U R L <http://www.kk-kanae.jp>